

国道49号における雪崩緊急点検結果について

平成24年2月20日に国道49号郡山市中山峠～新潟県境において専門家と合同の雪崩緊急点検を実施した結果、今回の点検においては雪崩発生の可能性の高い斜面や早急な対策が必要な斜面は確認されませんでした。が継続して目視点検等を実施することとしております。

なお、今後とも降雪や路面凍結等が予想されますので、引き続き、安全運転にご協力をお願いします。

○点検実施日 : 平成24年2月20日(月)

○点検箇所 : 国道49号 郡山市安子ヶ島～耶麻郡西会津町宝坂
・雪崩の発生が予想される斜面(17箇所)

○点検方法 : 雪崩対策専門家及び職員による目視点検

○点検結果 : (雪崩対策専門家の考察)
・現時点で雪崩が発生する可能性の高い点検箇所は無い
・継続して目視点検を実施し、必要に応じて堆雪ポケットの確保、雪庇^{*}処理を実施すること

※雪庇: 山の稜線(りょうせん)から風下の谷側の空間に向かって張り出した、庇(ひさし)状の積雪。

【発表記者会: 郡山記者クラブ、会津若松市記者クラブ】

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局 郡山国道事務所

副所長(管理担当) 齊藤^{さいとう} 忠則^{ただのり} 電話: 024-946-0333(内線205)

管理課長 岩渕^{いわぶち} 誠^{まこと} 電話: 024-946-0333(内線431)

裏面もあります

雪崩緊急点検実施結果

郡山国道事務所管内の国道 49 号沿線の累加降雪量は西会津町、会津若松市内で過去五カ年平均を大きく上回る降雪量となっており、これからの時期は気温の上昇や降雪等によっては雪崩が発生しやすい状況となります。

郡山国道事務所ではこれまで、雪崩予防・防止対策として雪崩防止柵等を設置するとともに道路パトロールにより危険箇所の確認を実施しておりますが、今回、雪崩対策の専門家と合同で危険箇所の点検を実施しましたので、点検結果をお知らせします。



郡山国道管内の累加降雪状況(数値は各年とも2/20現在)

西会津除雪ST	H24:451cm(5カ年平均 397.4cm)、H23:594cm、H22:513cm
会津若松除雪ST	H24:280cm(5カ年平均 172.6cm)、H23:308cm、H22:239cm
猪苗代除雪ST	H24:219cm(5カ年平均 220.6cm)、H23:213cm、H22:322cm

【雪崩点検実施状況】



【雪底処理状況】



◆雪崩緊急点検実施結果

- 国道 49 号の雪崩等の発生が予想される斜面 17 箇所を点検した結果、今回の点検では雪崩発生の危険性が高い箇所はありませんでした。
- 早急に対策が必要な箇所はありませんでしたが、継続的に目視点検を実施し雪崩予防対策として堆雪ポケットの確保、雪底処理等の対策を行っていくこととしております。